

瀬戸キャンパスの登り窯を利用した 留学生の陶芸体験を実施

名古屋学院大学(名古屋市熱田区熱田西町、学長：赤楚治之)では、9月30日(土)に瀬戸キャンパスにある登り窯を利用した留学生の陶芸体験を開催します。陶芸体験を通じ、留学生に日本の文化を体験してもらい、理解を深めます。

留学生の陶芸体験は、大学コンソーシアムせとが主催する「新しい文化創造プロジェクト」の一環として行われます。瀬戸の焼き物文化を留学生や海外陶芸家を通して世界へ発信することを目的に、本学の加藤裕重非常勤講師が「焼き物を通じた国際文化交流と登り窯の焼成」を企画しました。10月10日(火)から瀬戸キャンパスの陶芸館で、アメリカから海外陶芸家を招き作品制作を行います。本学留学生が制作した作品とともに10月17日(火)から窯詰め、焼成、窯出しを行います。

【 留学生陶芸体験 】

- 開催日時 : 2023年9月30日(土) 9時30分～ (午前中)
- 開催場所 : 瀬戸キャンパス 陶芸館 (〒480-1298 瀬戸市上品野町1350)
※留学生別科生約20名が体験予定
- 焼成スケジュール

10月17日(火)、18日(水)	窯詰め
10月19日(木)～22日(日)	登り窯焼成
10月25日(水)	窯出し

◇瀬戸キャンパス登り窯「創造窯(そうぞうがま)」について

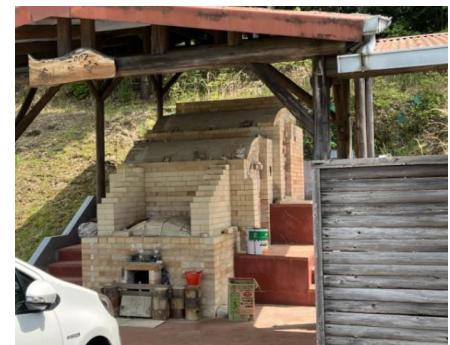
登り窯は、2002年に父母会から卒業記念として瀬戸市内の築炉メーカーによって制作されたものです。

(登り窯 仕様)

全長 全幅 の2連房の登り窯

1の間 : 内部幅130cm、奥行100cm、高さ130cm

2の間 : 内部幅160cm、奥行120cm、高さ120cm



◇「大学コンソーシアムせと」について

大学コンソーシアムせとは、瀬戸市と近隣の6大学が協働して、瀬戸地域の新しい文化活動を創成していくための組織です。

瀬戸市と加盟大学が連携して各種事業を推進しています。